

## W・S・Hの合唱で幕開け

久御山  
中学校 大作戦・音楽の部

久御山中学校（公文代哲夫校長）の2学期恒例のイベント「久御山大作戦」が始まった。今年のスローガン

は「千変万化く新たな道を切り開け」。同校との姉妹校提携に伴う交流事業で来日中のオーストラリアのワー



クラスメートと心をつなげて合唱する生徒たち



オープニングを飾ったW・S・Hの生徒の合唱

ウィック・ズテート・ハイスクール（以下W・S・H）の生徒15人（中学3年生、高校3年生）も参加する中、20日に「音楽の部」が開かれ、1年3クラス、2年3クラス、3年4クラスが体育館に歌声を響かせた。

同校ではコロナの影響で、従来の合唱コンクールと体育大会を「学校の新しい生活様式」にアレンジ。「久御山大作戦」と名付け、2020年から実施している。

近年はコロナ禍の影響で、学年ごとの入れ替え制で開催してきたが、今年は全校生徒が体育館に集まり、保護者席も設け、5年ぶりに従来の形で実施した。

開始式では公文代校長が「心を一つにして素晴らしい合唱や演奏

を」などと、W・S・Hの生徒にも分かるよう英語を交えながら激励した。生徒会本部役員的小林俊介さん（3年）は「団結し一丸となつて練習に励み、その力を存分に発揮し、音楽の部を大成功に導いて」とエールを送った。

オープニングではW・S・Hの生徒が合唱を披露。その後、全10クラスの生徒がクラスメートと心をつなげて胸に響く歌声を響かせ、保護者らから盛大な拍手を浴びた。

全クラスの発表後には、3年生全員による学年合唱も。「栄光の架橋」で声を合わせた。

最後は吹奏楽部の演奏で締めくくりに。この演奏をもって引退する3年生部員がこれまでの思いを込めた。